



赤嶺 雅和 議員

待機児童の状況と ゼロの施策は

答 前倒しできる事業は積極的に取り組む

問 待機児童の今後の状況はどうか。

副町長 9月1日現在の待機児童は233人で対前年度40人増となっている。本町の未就学児の人口は増え続けている。それに比例して保育園の入園希望児童は、今後も増えると思定している。

問 待機児童ゼロを目指しての施策について進捗はどうか。

副町長 「南風原町子ども・子育て支援事業計画」に沿って新規認可園や小規模保育園の設置などを行う。さらに前倒しできる事業は積極的に取り組む。

問 新規の保育園も2カ所増えているようだが、今後の計画はどうか。

民生部長 今年度で整備を進め、196人の定員増に取り組む。次年度中での開設に向けては、新設の認可保育園を1カ所予定している。小規模保育園の

新設も公募している。予定としては年度内に2カ所の設置を計画している。

問 新規認可保育園は、来年4月の開園に間に合うのか。

民生部長 大変厳しい状況だが、最大限の努力をし4月1日の開園に向け取り組んでいる。

独自の都市計画で人口増加を

問 町独自の都市計画策定で宮城区、大名区、神里区の人口増加を目指すことができるか。

副町長 大名区の人口は平成25年度に緩和区域が拡大されてから増加傾向にある。宮城区、神里区も、緩和区域の拡大ができるか人口増加の施策を県と協議する。都市計画区域の再編については、引き続き議論を重ねていく必要がある。

経済建設部長 神里区の人口は平成25年から平成26年にかけて

では若干増えている。平成26年から平成27年はガクリと落ちている。大きな要因としては、太希おきなわの移転に伴う人口減かと考えられる。平成24年から増えた要因として、緩和区域の設定により、戸建て住宅が増えたことである。緩和区域の拡大の余地はありと考える。今後は、拡大に向けて県と協議を進める。

神里区の人口の推移

年 度	世 帯 数	人 口
平成25年度	339	872
平成26年度	349	882
平成27年度	316	859
平成28年度	319	836

(各年度の3月31日時点)